

町政を問う

一般質問



永井 正之議員

耕作放棄地について

国は重税を検討中

議員 耕作放棄地の現状と原因は。

産業観光課長 平成26年度数値で397ha、増加の一途でございませう。原因は、高齢化、後継者不足、農産物の価格低迷、高収益の農産物がないこと、有害鳥獣被害等が挙げられます。

頭数の激減策を

議員 原因の一つとして猿対策は。

産業観光課長 中小坂に70頭、東野牧方面に30頭いて、増加傾向にあります。猟友会に捕獲依頼をしていますが、

町内で仕事をしている会員が少なく、早急な対策は困難であるようです。

町長 鳥獣被害に対しては、鋭意協力を求めて話し合いをする中から、頭数の減少に向けた方法を協議しているところですよ。また、地域の問題として捉え、協力してもらえればと思います。

議員 自然保護団体等からの圧力は。

産業観光課長 猿については、愛玩動物みたいな感じで捉えられているところがあるようです。



増加する耕作放棄地

議員 「囲いワナ」の設置を。
産業観光課長 猟友会と協議し、検討したいと思います。

農業は町の基本

議員 農業振興を含めた対策は。

町長 大変難しい問題です。各関係機関と協議し、計画的な土地利用と、農地の有効利用促進、農業を支える人づくりの担い手確保、六次産業での環境づくりなど、下仁田の自然と風土を活かした農業振



捕獲された猿

興を図っていきたくと思っています。このことが、耕作放棄地の拡大防止や、有害鳥獣対策につながっていくべく、推進していきたく

と思っています。

議員 国・県からのメニューがある聞きましたが、町から継続的に発信してもらいたい

と思います。



高瀬 政信議員

ふるさと納税について

議員 ふるさと納税が、

4月1日から新しい制度で始まったが、現在

までの実績は。

地域創生課長 4月1日からの実績ですが、5